



## 交流会・自己紹介タイム

～感想・自分たちができること・もっと知りたいこと～

今、私たちができること・思うこと

9つのグループに分かれて交流会を行いました。

17名のケアマネジャー、地域包括支援センター職員の方に各グループに入っていた

だき、事例についての感想や日頃の思いを話し合いました。グループ交流会の後、4つのグループから発表、そして、参加者全体での意見交換を行いました。



「好評でした」

初

## 全体ディスカッション

司会・進行はCM協議会の辻さん。  
各職種からの意見を全体で共有することができました! (^\_^) !



### ケアマネジャーに期待する事など～各専門職から～



ざっくばらんに

- 【看護師(訪問)】 「相談した時にすぐ対応してくれるので助かる。」
- 【理学療法士(病)】 「今後の方針を決める時に入院前のADL情報は重要。情報提供をお願いします」
- 【薬剤師】 「残業確認が薬剤師だけではできないので、日頃の確認の協力をお願いしたい」
- 【歯科衛生士】 「食べられない場合に、食べ物の変更ではなく、まず口の評価を。口の評価、嚥下の評価は専門家に任せて、つないでほしい。」
- 【歯科医師】 「どの地域でも歯科は支援チームに入りにくいといわれている。在宅ケアの一員として歯科医が活躍できるように相談してほしい。治療だけでなく嚥下や口腔に関する事をどんどん質問相談してくれることでチームに入りやすい」
- 【医師】 「医師に遠慮しているCM多い。遠慮せず医師に相談を。サービス提供表は医師にも出してほしい。往診などの調整もできる。」「連携の際に難しいと思う職種はありますか?本音を聞かせてほしい。」

### ケアマネジャーの思い 他職種へ伝えたいこと

※「(別紙)こんなことありました」に、グループ交流会でのご意見を掲載しています。どちらもぜひご覧ください。

- ◆「ご家族の意向で支援の方向が変わってくる場合も。本人と家族の思いの間で調整が難しいと感じことがある」
- ◆「サービスを考える時に支援者の意見がまとまらない場合、どこで折り合いをつけるかを悩む。」
- ◆「専門職同士、意見を交わし合い強い支援チームができる。職種としてチームの作りづらさを感じる職種はない。」
- ◆「制度の壁や制度の狭間にある場合の支援の困難さを感じる。行政機関との連携や協力が必要」
- ◆「専門職の方をうまくつなぐためにCMも多職種に助けてと言えるようにしていきたい。また、他の職種からも積極的なかわりを提案していただけるとありがたい。」
- ◆「認知症の方への対応について。利用者さんにとって先生は特別な存在。これからも優しい声掛けをお願いします。」



この全体会での意見交換を通して、専門職一人ひとりが互いにチームケアを意識して、より専門性を発揮するため、今より一歩前へ踏み出し、手をつけないでいいこうという思いを確認することができました。



## ご参加ください! こう地域チームケア研究会

お知らせメールの登録をお願いします

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、①お名前②ご所属③ひとことをいれて事務局までメール送信してください ☆事務局(mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp



次回は…平成28年5月12日(木) 18:30~20:30

テーマ：『活動の原動力「食べる/栄養」を考える』

会場：くすのきセンター1階研修室

担当団体：湖東圏域の病院(相談支援部門)・湖東圏域のリハビリ職

\*申し込みは不要です。当日会場へお越しください

\*問い合わせ先：こう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

H P「在宅医療福祉の森」でも研究会のホームページをご覧いただけます。

